



第1回 カードゲームを使ってまちの未来を体感

町民の皆さんと町職員の交流と、地域づくりにつながるスキルアップを目的として、人材育成講座「ヒトカラ×Hicolor×イイナ」(ヒトカラ)を開催しました。今年度は、9月から11月までの3回連続講座。テーマを変えて講師をお呼びし、地域で活動する際に必要となる具体的なスキルを学びました。高校生が参加する回もあり、幅広い意見交換が行われました。今後もまちづくり講演会の開催や、スキルアップなどを目的とした人材育成講座の実施、町民の皆さんと町職員との対話の場を設けていきます。

人材育成講座を開催

9月~11月



第3回 資金調達法(ファンドレイジング)を学ぶ



第2回 ファシリテーションスキルを学ぶ



多くの意見をいただきました

宿泊機能・レストラン機能・宴会機能(会議機能)を有する施設の再編に関する住民説明会を行いました。本町には、「やまなみ」琴引ビレッジ山荘「憩いの郷衣掛」の3施設がありますが、いずれも老朽化が進んでおり、稼働率の低い施設もあることから、機能再編の検討を行っています。説明会での住民の皆さんのご意見を参考にし、来訪者・利用者の維持・増加に繋がるよう宿泊施設再編の検討を行います。

観光宿泊施設再編に向けた住民説明会

11月14日(木) 15日(金)



飯南町青色申告会の庄司会長(右)から教育長に

雲南税務関連五団体連絡協議会から、租税教育用下敷きと冊子を寄贈していただきました。4年連続となる今回の寄贈は、円滑な税務行政の運営寄与することを目的に構成された同団体が、「税を考える週間」での税知識の普及、啓発活動の一環として行うもの。町内小学校の6年生(複式の場合は5年生も)が対象です。今後も町内小学校では、税に関する授業や絵はがきコンクールなどを通して、租税教育を推進していきます。

租税教育用品の寄贈

11月26日(火)



持続可能な国道54号と地域づくり
国道54号活性化アクションプラン
推進協議会人つなぎシンポジウム

12.7 (土)



同会での活動を振り返るディスカッション

レストハウスやまなみで「国道54号活性化アクションプラン推進協議会人つなぎシンポジウム」が開催されました。同会は平成23年度から活動し、今年度で14年目。尾道松江道の開通による国道54号沿線の交通量減少に対応するため、策定された「国道54号活性化アクションプラン」の実行役として活動してきました。この度、会としての活動を終了することになり最終報告会としてシンポジウムを開催しました。



作野会長(左から2人目)から提言書を町長に

第1部では基調報告として、同会の作野広和会長(島根大学教授)と奥野恵子副会長、多久悟史副会長が、同会の成り立ちやこれまでの活動の課題や成果を発表。その後、これまでの活動を基に、「国道54号活性化と地域づくり」をまとめ、町長に提言しました。また、邑南町のNPO法人「たかはらんど」による地域づくり活動の事例発表がありました。

第2部では、作野会長や会員、町長でこれまでの14年間の活動を振り返りました。当日参加できなかった会員からのメッセージの披露や、参加者からの質問に答えるなど、盛り上がりしました。

タスキに想いを込めて
第33回しおかぜ駅伝

「第33回浜田ー益田間駅伝競走大会(しおかぜ駅伝)」が開催されました。コースは、益田陸上競技場」と「はまだお魚市場」を結ぶ、8区間39・6キロメートル。全34チームが出場し、優勝を競いました。

飯南チームは、若手もベテランもそれぞれがこれまで取り組んできた練習の成果を出し切り、チーム一丸となってタスキをつなぎました。結果は、全34チーム中23位、2時間23分37秒と健闘しました。

【選手】

区間	選手名	所属
1区	黒角 梨奈	団体職員
2区	加藤 郁海	団体職員
3区	後長 輝	団体職員
4区	奥野 颯	赤来中2年
5区	田村 瑞希	赤来中3年
6区	加治 賢悟	団体職員
7区	加治 伴太	飯南高2年
8区	下宮 雅行	団体職員
控	安部 凌生	団体職員
控	八幡 瑛輝	団体職員
控	吉川 瑛太	赤来中2年
控	和久利 友瑚	赤来中3年
控	薬師寺 陽介	赤来中1年



5区の田村さんから6区の加治さんへのタスキリレー



選手、スタッフで記念撮影。お疲れさまでした